

第4章 庁内エコプランの進捗状況

「庁内エコプラン」は、温室効果ガスの排出を削減するため、市の事務・事業の中で環境保全に関して配慮すべき具体的な事項を定め、行動していくためのもので、温室効果ガスの総排出量を平成13年度レベルより6%削減し維持していくことを目標として掲げています。

平成16年度以降は、財政課以外で管理しているデータ（庁舎内におけるガソリン使用量）を含めています。

対象とする事務・事業

区分	組織・施設等
市庁舎	総務部（総務課、財政課、企画政策課、市街地整備推進室、情報推進課、市民税課、資産税課）、市民経済部（ふれあい推進課、市民課、生活環境課、防災課、産業振興課）、保健福祉部（社会福祉課、介護福祉課、児童福祉課、健康管理課、国保年金課）、都市建設部（都市計画課、都市整備課、道路管理課、建設課、下水道課）、会計課、水道課、議会事務局、選挙管理委員会、監査委員事務局、農業委員会、教育委員会（教育総務課、学校教育課、生涯学習スポーツ課）
小中学校	木下小学校、大森小学校、小林小学校、小林北小学校、永治小学校、船穂小学校、木刈小学校、小倉台小学校、内野小学校、原山小学校、高花小学校、西の原小学校、原小学校、印西中学校、小林中学校、船穂中学校、木刈中学校、原山中学校、西の原中学校
幼稚園 保育園	大森幼稚園、木下保育園、大森保育園、木刈保育園、内野保育園、高花保育園、西の原保育園
出先機関	船穂出張所、小林コミュニティプラザ（小林出張所・小林公民館・小林図書館）、中央駅前出張所、牧の原出張所、中央公民館・視聴覚ライブラリー、中央駅前センター（中央駅前公民館・中央駅前児童館・中央駅前老人憩いの家）、ふれあい文化館（そうふけ公民館・そうふけ図書館・そうふけ児童館・そうふけ老人福祉センター）、大森図書館・文化ホール、小倉台図書館、資料整理作業所、高花学校給食センター、牧の原学校給食センター、中央保健センター（健康管理課）、保健福祉センター（南部保健センター・高花老人福祉センター・高花在宅介護支援センター・たんぼぼ園）、総合福祉センター（地域福祉センター・子どもふれあいセンター・中央老人福祉センター）、草深ふれあいの里（草深ふれあい市民センター・教育センター）

備考）対象とする事務・事業は、平成17年4月1日現在のものである。

4-1 温室効果ガスの排出状況

燃料使用量等の現状

平成 17 年度（平成 17 年 4 月～平成 18 年 3 月）における 1 年間の燃料使用量等は、下表のとおりです。

項目		単位	年間使用量
燃料使用量	ガソリン	l	58,425
	灯油	l	73,143
	軽油	l	4,714
	A重油	l	0
	L P G	m ³	33,134
	都市ガス	m ³	364,869
電気使用量		kwh	6,031,995
自動車走行量	ガソリン車	km	481,895
	軽油車	km	32,990
上水道使用量		m ³	148,050
下水処理量		m ³	132,652
紙使用量	普通紙	枚	193,134
	カラーコピー用紙	枚	46,500
	再生紙	枚	5,685,100

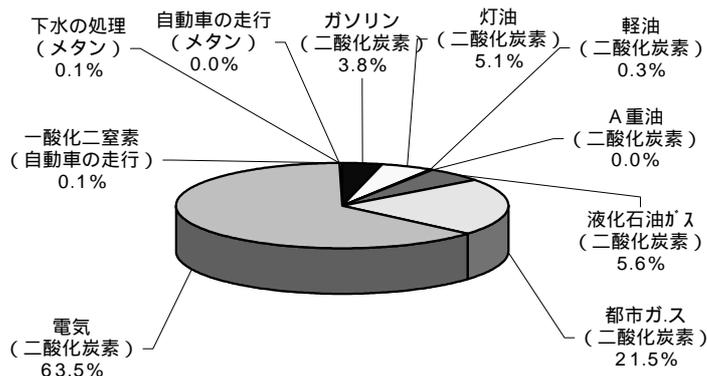
温室効果ガスの排出状況

平成 17 年度（平成 17 年 4 月～平成 18 年 3 月）における温室効果ガスの排出量（二酸化炭素に換算）は、下表のとおりです。活動の種類ごとの温室効果ガスの割合を見ると、電気が過半数を占め、都市ガス、液化石油ガスと続いています。

温室効果ガスの種類	排出源	年間排出量(kg-CO ₂)
二酸化炭素	ガソリン	134,962
	灯油	183,589
	軽油	12,445
	A重油	0
	L P G	200,129
	都市ガス	769,874
	電気	2,280,094
	自動車走行	146
メタン	下水処理	2,451
一酸化二窒素	自動車走行	4,524
温室効果ガス総排出量		3,588,214

備考）「地球温暖化対策の推進に関する法律施行令の一部を改正する政令」が平成 18 年 4 月 1 日に施行され、電気の排出係数が「0.555」へ変更されましたが、本環境白書は平成 17 年度実績をまとめたものであるため、従来どおり「0.378」を使用しています。

温室効果ガス排出量の割合



活動種類ごとの温室効果ガスの割合 (平成17年度)

4-2 温室効果ガスの総排出量の推移

平成 17 年度の温室効果ガス総排出量は 3,588,214kg-CO₂ であり、平成 16 年度と比較した場合、5,484 kg-CO₂ の温室効果ガスを削減しました。

基準年度（平成 13 年度）からの削減率をみると、目標値である削減率 6% に年々近づき、平成 17 年度は 5.4% の温室効果ガスが削減されました。

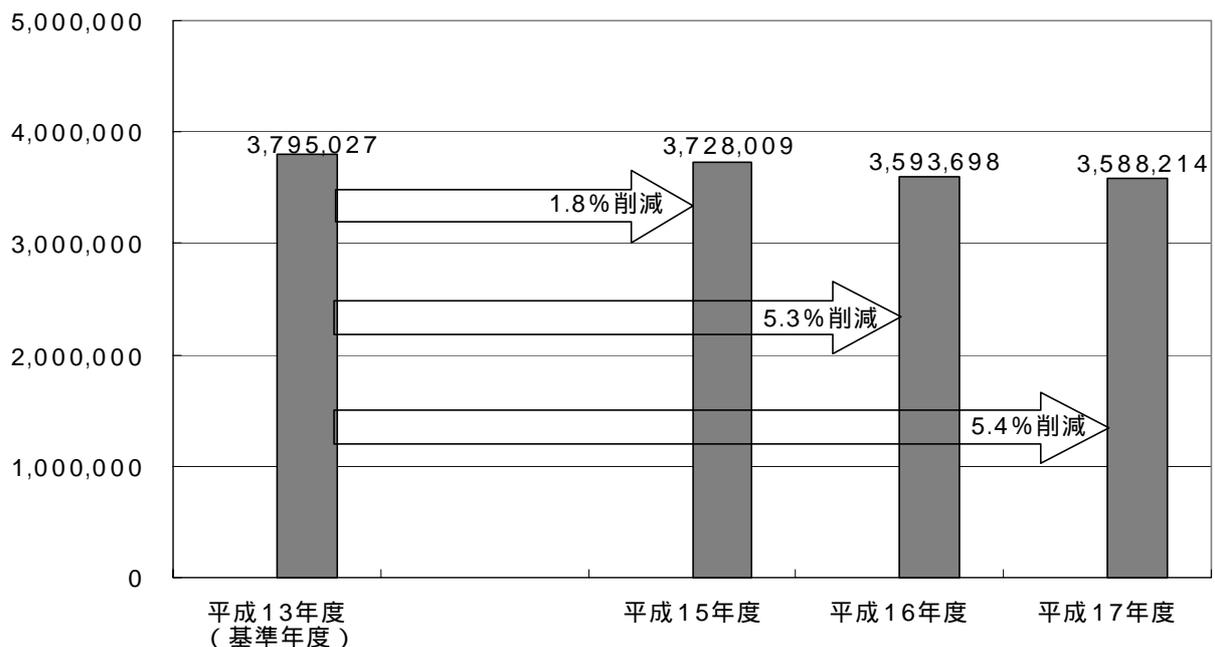
温室効果ガス総排出量の比較(平成 13・15～17 年度)

活動の種類及び 温室効果ガス区分		温室効果ガス年間排出量(kg-CO ₂)			
		平成13年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
二酸化炭素	ガソリン	112,243	109,490	135,200	134,962
	灯油	294,508	341,928	181,804	183,589
	軽油	31,675	36,842	12,630	12,445
	A重油	0	0	0	0
	液化石油ガス(LPG)	265,628	246,597	188,057	200,129
	都市ガス	856,129	812,757	1,128,577	769,874
	電気	2,234,843	2,174,235	1,939,022	2,280,094
メタン	自動車の走行	-	114	190	146
	下水の処理	-	2,794	2,689	2,451
一酸化二窒素	自動車の走行	-	3,251	5,530	4,524
合 計		3,795,027	3,728,009	3,593,698	3,588,214
基準年度(平成13年度)からの削減率		-	1.8%	5.3%	5.4%

備考) 庁内エコプランにおいては対象とする温室効果ガスを二酸化炭素としているが、社会情勢を考慮して平成 15 年度から自動車走行、下水処理に伴い発生するメタンと一酸化二窒素を対象ガスに含めることとしています。

温室効果ガス総排出量の推移(平成 13・15～17 年度)

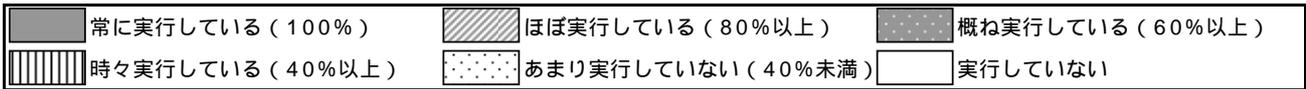
温室効果ガス年間排出量 (kg-CO₂)



4-3 取組みの実施状況

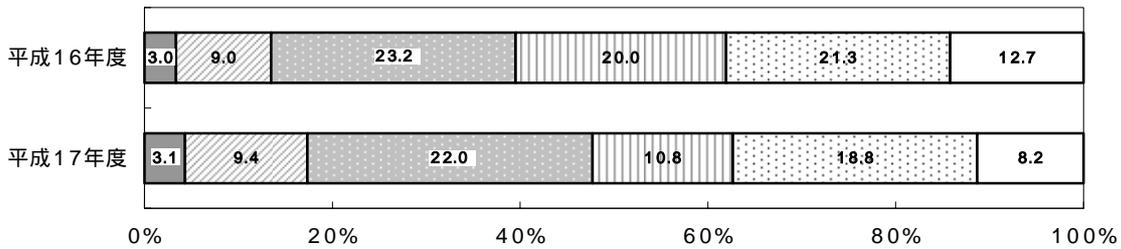
平成 16・17 年度における取組みの実施状況は次のとおりで、全職員に行った自己行動調査の集計結果になります。

取組みの実施状況（平成 16・17 年度比較）

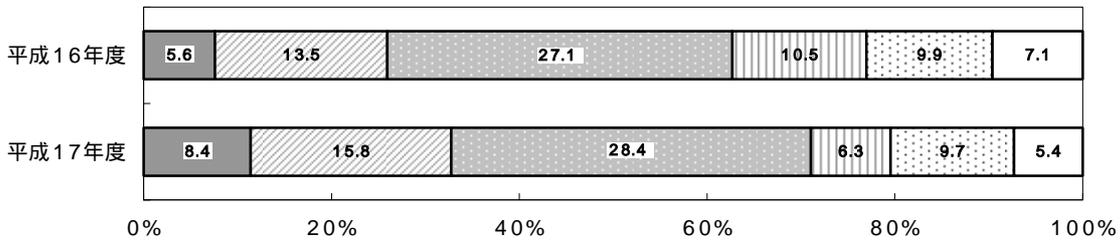


グリーン購入の推進

エコマーク商品 を優先的に購入している

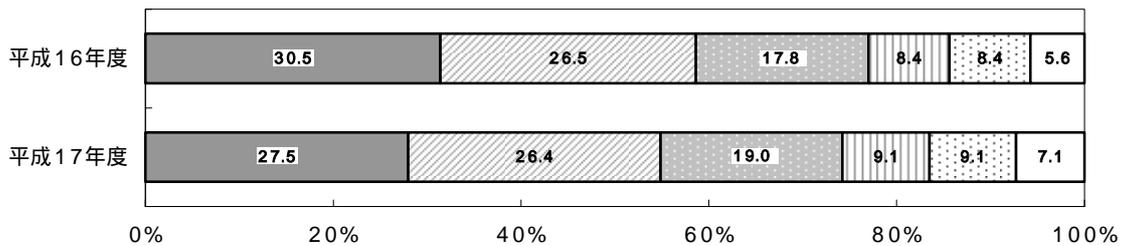


エネルギー効率の良いOA機器の導入を心がけている

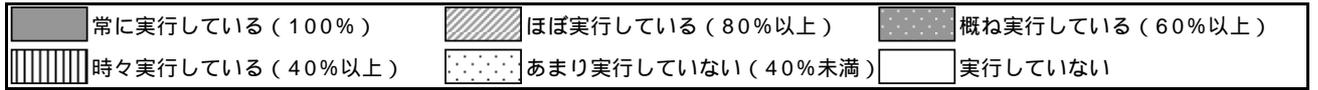


公用車の適正な維持管理の推進

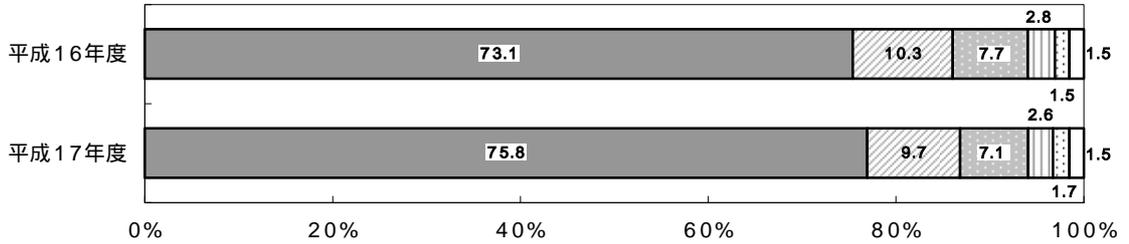
アイドリングストップを実施している



印のついている用語の詳細については、資料編 P.58 以降の用語解説を参照下さい。

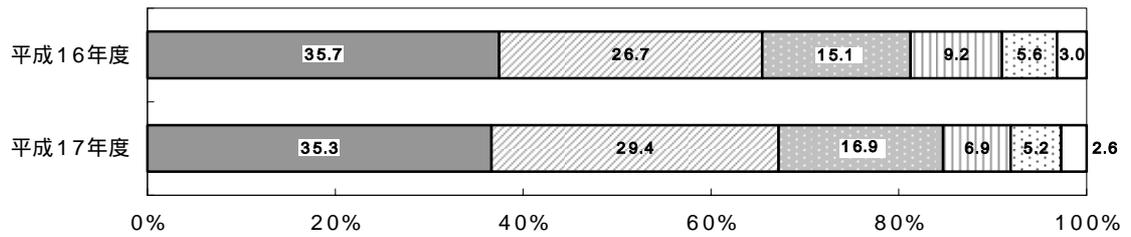


公用車 1 台ごとに走行距離・給油量等を記録している

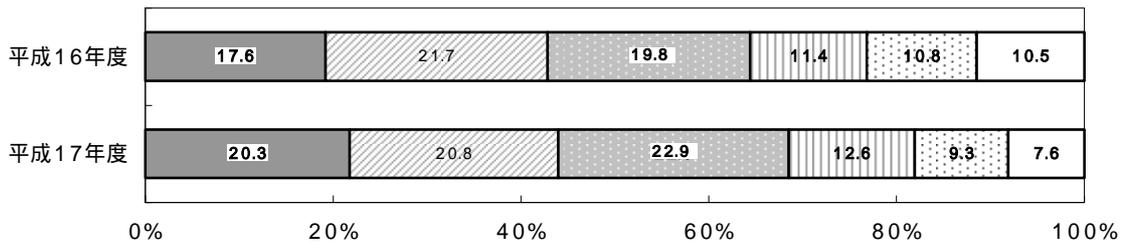


省エネルギー・省資源対策の推進

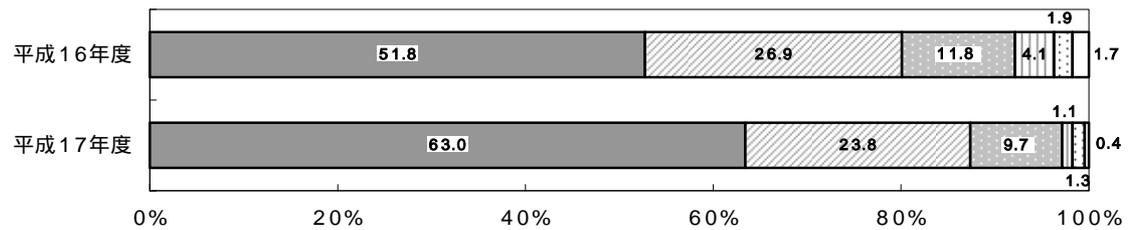
昼休みの消灯、時間外の不要箇所の消灯を実施している

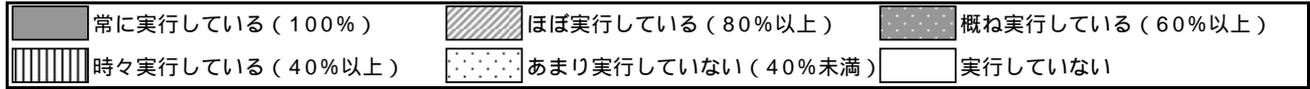


パソコンは未使用時には閉じるように心がけている

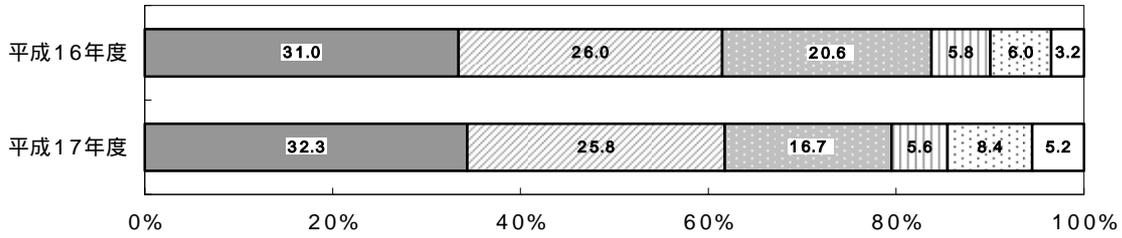


トイレ・給湯室・更衣室等は使用の際点灯するようにしている

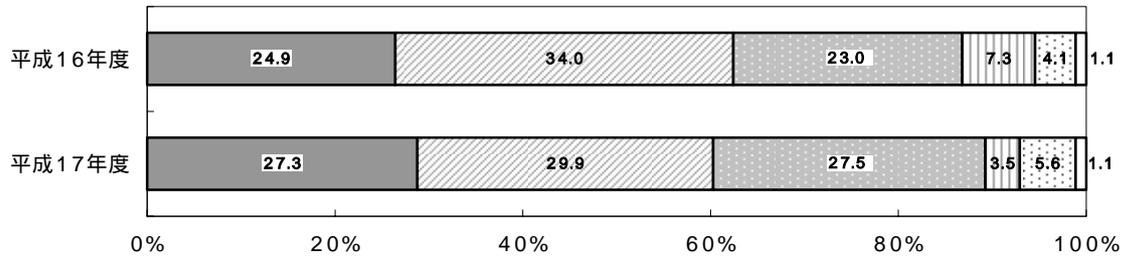




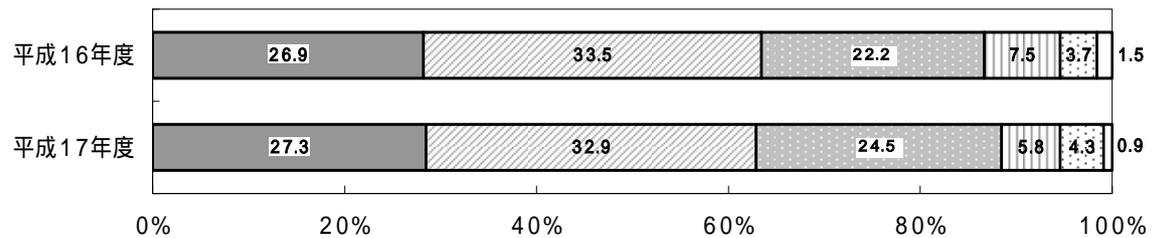
ノー残業デーを実施している



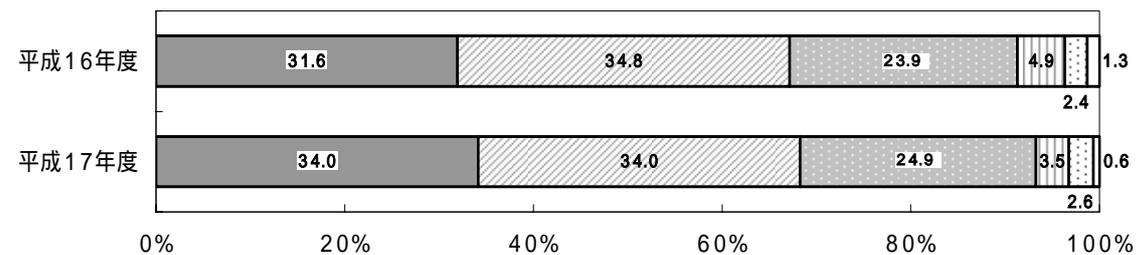
暖房・冷房は適切な温度調節を心がけている

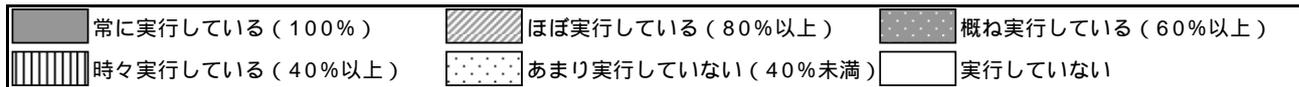


夏季はブラインドを閉める等室温の上昇を防ぐよう努めている

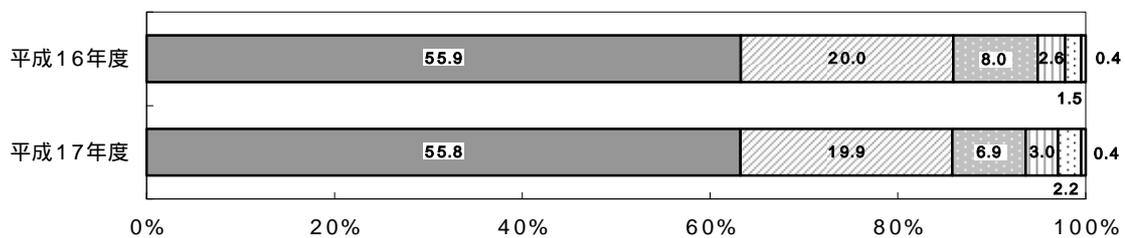


日常的な節水を心がけている



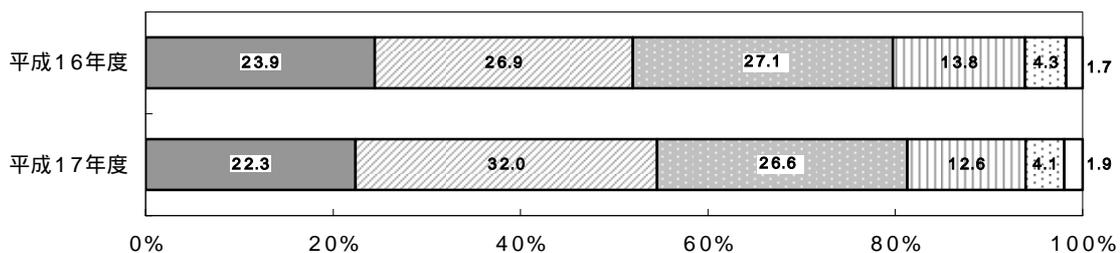


荷物の搬入・搬出以外でエレベーターは利用していない

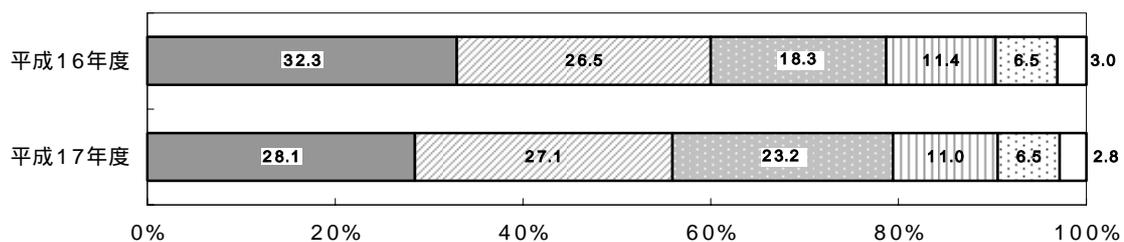


廃棄物の減量化・資源化の推進

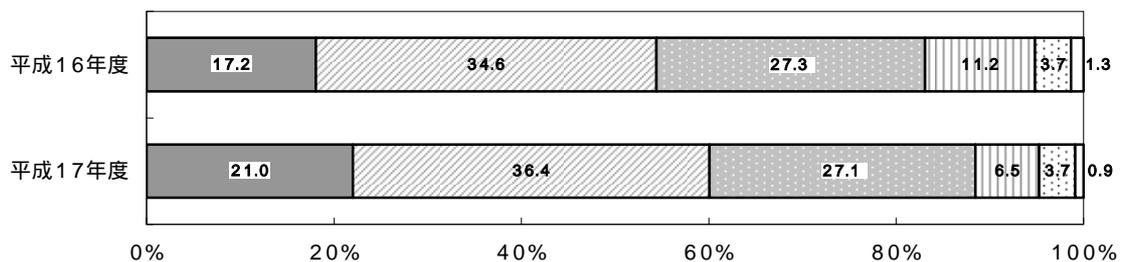
資料等は両面コピーで作成している

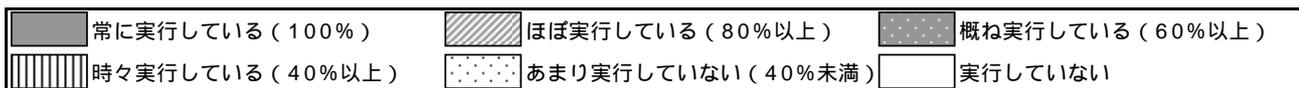


片面使用済み用紙の裏面をコピー用紙等として活用している

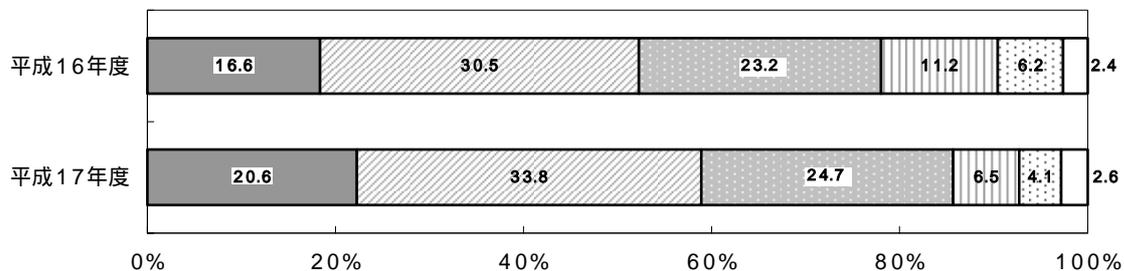


庁内情報システムを利用し、ペーパーレス化に努めている

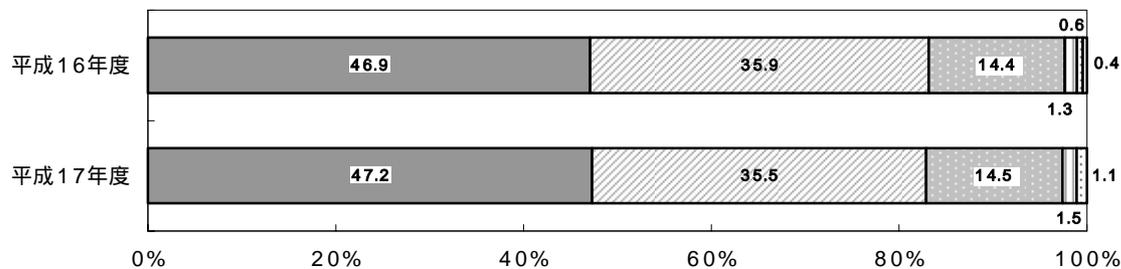




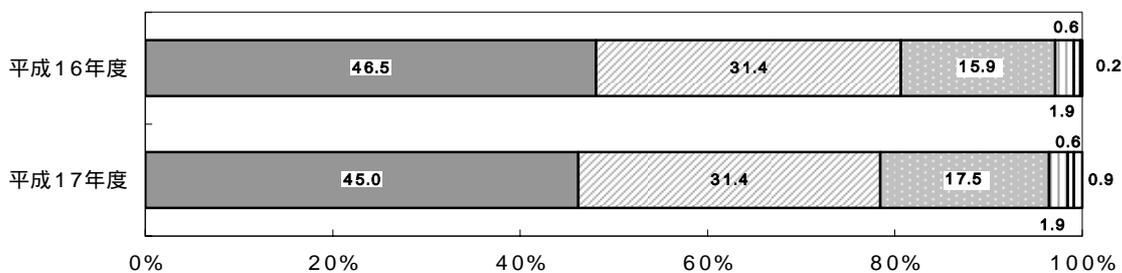
外部機関との事務連絡はできる限り電子メールを利用している



ごみの分別を徹底している



シュレッダーは秘密文書に限り使用している



割り箸、紙コップ等の使い捨て商品を使用していない

